



～鉄道旧軍財産の今昔物語 IN CHIBA～

鉄道隊

鉄道隊とは、日本陸軍において鉄道の敷設・補修・運転・破壊を担当した鉄道専門部隊のこと。兵員および物資輸送の確保を目的とし、近代戦において重要な役割を担った。

同部隊は、鉄道大隊として常設化され、明治39年には資材の保管のため、津田沼駅周辺に軽便鉄道を敷設した。

翌年には鉄道大隊が鉄道連隊に昇格し、大正7年、千葉に鉄道第一連隊、津田沼に鉄道第二連隊が配置された。

軽便鉄道

軽便鉄道とは、線路の幅が狭い小型鉄道全般を指す。

右図の各演習線も、迅速な線路敷設を目的として線路の幅を狭くしたことから、軽便鉄道に含まれる。

一般人の無料便乗が黙認されたことや、農産物の輸送にも使われていたため、沿線住民からも「軽便鉄道」と呼ばれ親しまれていた。

(線路幅の比較)

新幹線・京成松戸線：1435mm

JR線：1067mm

演習線：600mm

参考文献

路線図：地理院地図を加工して作成

写真：①鎌ヶ谷市郷土資料館

②習志野市教育委員会

本文：鉄道連隊の歴史 習志野市HP

「軽便鉄道」-八街線- 八街市HP

鉄道連隊演習線

●松戸線（松戸－津田沼） ●習志野線（津田沼－千葉） ●下志津線（千葉－四街道） ●八街線（八街－三里塚）※破線部分は敷設訓練後すぐに撤去。





軽便鉄道の跡地は今どうなっているのかな？



①アカシア児童遊園（鎌ヶ谷市）

鎌ヶ谷市に無償貸付中！



鎌ヶ谷市に無償貸付中！



アカシア児童遊園は、鉄道第二連隊の演習線のうち京成松戸線にならなかった区間にある。谷間にあるこの公園には、演習線の橋脚が4基残されており、高いものは6m近くある。当初は木製であったが、コンクリート製に変更された。

②鉄道連隊門・津田沼一丁目公園（習志野市）

千葉工業大学に売却！



当時の門柱は、千葉工業大学の通用門として活用されている。鉄道第二連隊施設の建造物としては唯一残存している。



津田沼一丁目公園には鉄道第二連隊が実際に使用していた「K2形蒸気機関車134号」が展示されている。

③ハミングロード～三山新田公園（習志野市～船橋市）

習志野市に譲与！



習志野市に譲与！



鉄道第二連隊が使用していた軌道敷は主に道路として整備された。

広い歩道が確保できるほどの十分な道幅と滑らかなカーブに鉄道敷地の名残が感じられる。

（左上、右上）ハミングロード
（左下）三山新田公園

船橋市に無償貸付中！



④千葉公園・旧鉄道連隊材料廠煉瓦建築（千葉市）

千葉市に無償貸付中！



千葉公園は、鉄道第一連隊の演習作業場であり、鉄道の保守・新設・修理をはじめ、敵地での鉄道の破壊を想定した訓練も行っていた。公園内には架橋演習用の橋脚やトンネル工事演習用のコンクリート製のドームが残されている。

千葉経済学園に売却！



明治41年に材料廠*として建築され、現在は千葉経済学園が所有する県指定有形文化財である。内部には煉瓦造りのアーチが10基あり、初期煉瓦建築を伝える貴重な建造物となっている。

* 廠：壁の仕切りがない広い建物のこと。工場、倉庫。